

科目名	図画工作演習				担当	西澤 智恵子		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年前期	実務経験	保育士として保育施設で勤務経験有	
必修	—				ナンバリング	Y3702	DPとの関連	3・4
授業概要	造形活動から広がる子どもの世界を育む保育者のかかわり方について学ぶ。 身近な素材を生かした表現活動を通して、保育現場での素材活用の方法を学ぶ。							
到達目標 学習成果	1、子どもたちの興味関心に寄り添い、意欲を引き出す造形活動の開発ができる 2、グループワークに積極的に参加し、協力して表現活動ができる 3、他のグループの題材開発について、良いところを学び合うことができる 4、題材開発を通して素材の特質を理解し、表現する楽しさを味わうことができる							
授業計画	回	内容						
	1	イントロダクション・題材開発①	本授業の概要・目的を理解する					
	2	題材開発② 制作	季節に合わせた造形活動をする					
	3	題材開発③ 発表	プレゼンテーションと制作のまとめをする					
	4	題材開発① テーマを決める	調べ学習をもとに意見交換をしながら題材を決め計画表を作る (ディスカッション・グループワーク)					
	5	題材開発② 制作	制作をする(グループワーク)					
	6	題材開発③ 制作 発表	制作をする(グループワーク)					
	7	題材開発④ 発表	プレゼンテーションと制作のまとめをする(グループワーク)					
	8	題材開発① 制作	調べ学習をもとに意見交換をしながら題材を決め計画表を作る (ディスカッション・グループワーク)					
	9	題材開発② 制作	制作をする(グループワーク)					
	10	題材開発③ 制作・発表	制作をする(グループワーク)					
	11	題材開発① テーマを決める	調べ学習をもとに意見交換をしながら題材を決め計画表を作る (ディスカッション・グループワーク)					
	12	題材開発② 制作	制作をする(グループワーク)					
	13	題材開発③ 制作	制作をする(グループワーク)					
	14	題材開発④ 制作・発表	プレゼンテーションと制作のまとめをする(グループワーク)					
15	まとめ	子どもたちの意欲を引き出す保育について学ぶ(ロールプレイ)						
評価基準	1、自ら考え工夫し、保育現場で活かせる題材を開発することができたか 2、テーマに基づき、グループで協力しながら題材開発を深められたか							
評価方法	授業態度 20% 題材開発の内容 50% 提出物・課題への取り組み方 30%							
フィードバック 方法	題材開発と課題については授業中に講評する							
アクティブ ラーニング	調べ学習、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、ロールプレイ							
材料費	基本的な造形素材以外のものは各自の負担となる							
教科書	特になし							
参考書	必要に応じて提示する							
履修条件	保育者を志そうとする初心を忘れず、造形活動から広がる子どもの世界を育むかかわり方について考えながら履修すること							
授業外学習	造形活動について日常的に好奇心を持ち、学びと課題に取り組むこと							
オフィスアワー	授業終了後に対応する							